

開港 160 周年 横浜発祥物語

♪街の灯りがとても綺麗ねヨコハマ〜♪と、歌われた横浜をはじめ、桜木町、関内、馬車道、山下公園界隈を散策していると発祥の地の記念碑が多いことに気付きます。横浜港は今年で開港 160 周年。様々な西洋文化が横浜の港から日本に入ってきました。えっ、あれも！えっ、これも！と、その種類の多さにホントにびっくりします。今回はその中から私たちの生活に身近な発祥の地の記念碑をご紹介します。



日本洋裁業発祥顕彰の碑 横浜市中区山下町 85 番地

文久3年(1863年)英国人のミセス・ピアソンが居留地 97 番にドレス・メーカーを開店したのが日本の洋裁業の始まりですが、現在この碑は山下町 85 番地に置かれています。この碑は当時の洋装姿を像にしたもので、平成7年(1995年)日本洋装業発祥顕彰碑建立委員会によって建てられました。



日本最初の和英辞典の碑(ヘボン博士印跡) 横浜市中区山下町

1859 年に来日したヘボン博士は 1866 年に日本最初の和英辞典である和英語林集成を完成させました。また、その夫人はヘボン塾という英学塾を開き、これが今では横浜の戸塚にキャンパスを置く明治学院大学になりました。また本格的な施療所を構え、医療伝道に専念した場所でもあります。



西洋理髪発祥の碑 横浜市中区山下町(山下公園内)

明治2年(1869年)に政府の「断髪令」に先がけて小倉虎吉が現在の中華街に横浜で初めての理髪店を開業し、入港した異国船の船員の顔の髭を剃ったのがきっかけとされています。「ザンギリ(斬切)頭をたいてみれば文明開化の音がする」にちなんで石碑の顔には「ZANGIRI」と書いてあります。



近代のパン発祥の碑 横浜市中区日本大通 7 番地

内海兵吉は、フランス山に駐留するフランス連隊、フランス軍艦ドルドーニュ号の炊くから手ほどきを受け、小麦粉を原料に、パンのようなものを焼きました。内海兵吉は、これを「拳骨(げんこつ)パン」と称して発売しました。また、フランス人に習ったことからフランス語の Pain (パン) をそのまま使っていたようです。



ホテル発祥の碑 横浜市中区山下町 70 番地

ペリーの黒船来航から7年後の万延元年(1860年)、オランダ人船長のC.J.フフナーゲル氏が開業した「ヨコハマ・ホテル」は、レストランやビリヤード、バーを備え、医師のシーボルトや画家のハイネ、そしてローマ字の生みの親、ヘボン博士も投宿したとも伝えられています。現在は老舗洋菓子店「かをり」が建っています。



日本最初のプロテスタント教会 横浜市中区日本大通 8 番地

横浜開港後に渡来した米オランダ改革派教会の宣教師J・H・バラと、バラから洗礼を受けた日本人ら11人が、1872年に「日本基督公会」として設立。坂本龍馬暗殺の凄腕の剣士、今井信郎がクリスチャンになるきっかけにもなった教会だと伝えられています。累計受洗者総数は6,000名を下らないとされています。



消防救急発祥の碑 横浜市中区日本大通 11 番地

この場所は、明治初年から旧外国人居留地の消防隊が置かれ、防火貯水槽として建造されたものがほぼそのまま遺構として残され、2003年4月に「旧居留地消防隊地下貯水槽」として公開されました。またこの地はその後「中消防署」が置かれて、日本初の消防車や救急車が配置されました。



日本における新聞誕生の碑 横浜市中区山下町 関帝廟並び

ここは、元治元年（1864年）6月28日、ジョセフ・ヒコが「海外新聞」を発刊した居館の跡。ジョセフ・ヒコの本名は浜田彦蔵。「童子にも読なん（子どもにも読まれる）」とする読みやすくわかりやすい新聞を目指した新聞づくりは、現在の新聞の土台を築き、今でも高く評価されています。



日本で最初の警察署（加賀町警察署） 横浜市中区山下町 203

明治15年（1882年）日本で初めて警察署が居留地内に設置されました。居留地警察署と呼ばれ、現在の加賀町警察署の前身です。明治26年に居留地警察署から加賀町警察署に改称されました。当時の加賀町警察署は「日本の玄関口」といわれた横浜港と外国人居留地を管内に持ち、「日本の加賀町警察署」といわれていました。



ガス灯発祥の碑 横浜市中区住吉町 4-42-1

ガス灯が設置されたのは明治5年（1872年）。横浜にガス会社を立ち上げた高島嘉右衛門が、馬車道などに十数基設置しました。柱部は英国グラスゴー市から輸入、灯具は日本の職人が製造したとされています。ガス灯の白い灯りはろうそくに慣れていた市民にとってはまばゆく、「キリシタンの魔法」と例えるほどだったと言われています。



アイスクリーム発祥の碑 横浜市中区常盤町 4-47

関内ホールの近くに「太陽の母子」という名前の像があります。これは、アイスクリームの原料のミルクから連想して、母乳で子供を育てる母をイメージして制作されました。この場所こそ町田房蔵が日本で最初にアイスクリームを製造して「あいすくりん」と名付けて販売した場所です。でも当時は高価すぎて眺める人ばかりだったそうです。



日本の近代街路樹発祥の碑 横浜市中区尾上町 5丁目

慶応3年（1867年）、馬車道の各商店が、店の前に柳と松の街路樹を植えたのが始まりです。さらに、日本初のガス灯が点灯されると、街路樹は更に美しく映え、道行く人々の目を楽しませました。この並木は大正12年（1923年）の関東大震災で焼失し、現在では昭和52年（1977年）以降に植えられたアキニシに代わっています。



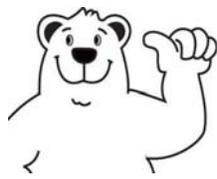
我国西洋歯科医学発祥の碑 横浜市中区相生町 6丁目 107

慶応元年（1865年）10月に横浜居留地 108番地で開業した、ウィリアム・クラーク・イーストレイキ氏が「近代歯科医学の父」と呼ばれています。当時のアメリカにおける最新の歯科医学を日本に伝え、西洋歯科に基づく歯科治療をしていました。3度目の来日時に開設された歯科診療所跡にこの碑は建っています。



鉄道発祥の碑 横浜市中区桜木町 1丁目

明治5年（1872年）5月7日、横浜（現・桜木町）～品川駅間で日本で最初の鉄道が開通、同年9月12日、横浜～新橋（現・汐留）駅間で正式に開業されました。記念碑は最初の鉄道に使われたレールを利用して作られていて、当時の横浜駅の外観や時刻表などが刻まれています。2020年には記念碑の前に新しい改札もオープンします。



ご自宅まで配達します！ 2019年 アサッチのオススメ本！ 5月



「感情の老化」を防ぐ本

和田 秀樹 編 定価：1080円(税込)

人の老化は、感情から始まる。何をするのも面倒くさい、面白いことがない、いつもイライラ……。こうした「感情の老化」は、「前頭葉の萎縮」と「性ホルモンの減少」が原因。「心の若さ」を保つ考え方、生活習慣をわかりやすく解説する。